上毛新聞
所（〒371）前橋市古市町1－50－21
上毛新聞社　1990

平野部の杉ピンチ

県、全域で実態調査へ

衰退の原因は何？

酸性雨　大気汚染　地下水

国は酸性雨被害の実態を把握するため、本年度から五カ年計画で全国千二百カ所の森林でモニタリング調査を実施する。県は平野部の国有林で実施する。県内では平野部の杉の衰退が指摘されてきた。しかし、平野部の実態は不明。今回の調査は環境保護の面からも大いに注目される。

欧州などで酸性雨の被害が大きくなっているため、国は本年度から全国の森林を対象に、五カ年計画で酸性雨の実態調査を行う。本年も、国の委託で十四カ所の森林で実施する。県は平野部が国の調査対象に入っていないため、県独自で平野部の神社、仏閣、屋敷林など各所にある杉の衰退実態調査をすることになった。

調査は、樹高三〇〇以下を基本的な対象地域とし、樹齢五十年以上の老木を対象に太数、大さ（そだつ）を調べる。「枯死・枯死寸前」から「枯死・枯死寸前」まで五段階に分け衰退程度調査を行うほか、写真で杉の現状を記録保存する。

計画によると、本年度から三年間で実態調査を行い、その後二年間さらに詳しい調査を実施。この中で、調査を基にして、五年ごとに継続調査を行う。

県内平野地で杉の衰退が指摘されてきたことは、これまでに村内席、下上田の一部から東毎に県林務部の専門技術員が出張し、調査地域に入れたいとしている。

沼田市議会は、昨日、県に対し、平野部の実態を調査するよう要望する。沼田は標高三〇〇以上だが、調査地域に入れたいとしている。

県は、酸性雨被害の実態を把握するため、本年度から五カ年計画で全国千二百カ所の森林でモニタリング調査を実施する。県は平野部の国有林で実施する。県内平野地で杉の衰退が指摘されてきたが、今回の調査は環境保護の面からも大いに注目される。

欧州などで酸性雨の被害が大きくなっているため、国は本年度から全国の森林を対象に、五カ年計画で酸性雨の実態調査を行う。本年も、国の委託で十四カ所の森林で実施する。県は平野部が国の調査対象に入っていないため、県独自で平野部の神社、仏閣、屋敷林など各所にある杉の衰退実態調査をすることになった。

調査は、樹高三〇〇以下を基本的な対象地域とし、樹齢五十年以上の老木を対象に太数、大さ（そだつ）を調べる。「枯死・枯死寸前」から「枯死・枯死寸前」まで五段階に分け衰退程度調査を行うほか、写真で杉の現状を記録保存する。

計画によると、本年度から三年間で実態調査を行い、その後二年間さらに詳しい調査を実施。この中で、調査を基にして、五年ごとに継続調査を行う。

県内平野地で杉の衰退が指摘されてきたが、写真で杉の現状を記録保存する